

## ～ 暑い夏 熱中症予防と平和を考える ～

### 毎年恒例「熱中症訪問」

7/30 に毎年恒例で実施している病院周辺地域への「熱中症訪問」を行いました。当日はあいにくの雨でしたが、職員 25 名と地域の友の会の会員さん 7 名で、病院周辺の高齢者宅を中心に訪問し、熱中症の予防について注意喚起しながら、体調やお困り事がないかなど、確認しました。

参加した職員からは、「雨だったので、かえって心配していただいた」「エアコンがないお宅があり、体調が



心配」などの感想も聞かれました。今後も、外来診療の場はもちろん、地域に貢献できる医療活動を展開していきたいと思います。



### 「原水爆禁止世界大会」壮行会を開催しました

城北病院では、毎年8月に開催される「原水爆禁止世界大会」に職員の代表を派遣しています。無差別に命を脅かす核兵器の廃絶と戦争のない平和な世界を目指し、職員一同が学び行動する機会を設けています。

今年は、1年目の研修医と看護師、中途入職のセラピスト、4年目の事務職員4名が代表として広島大会に参

加するための壮行会を、7/31に行いました。当日は、柳沢副院長からの激励のあいさつの後、代表4名が決意表明を行いました。最後に、事務職員全員で作成した千羽鶴を職員の平和を願う思いと共に代表に手渡しました。

代表4名は、大会参加後、学んだ事を報告会で発表することになっています。

### 私たちがめざすもの

#### 医療福祉宣言 城北病院

私たちは、ヘルスプロモーションホスピタルとして地域の皆様、他の病院や施設と共同してネットワークをつくり、無差別・平等の地域包括ケアを実践し、平和で安心して住み続けられるまちづくりに努めます。

発行 城北病院 医療福祉連携相談室

〒920-8616 金沢市京町 20-3  
TEL 076-251-6111 FAX 076-208-5231  
http://jouhoku-hosp.com  
E-mail renkeisitu@jouhoku.jp



城北病院だより

# Jo-HOKU No.71

2024.8.30 summer



## 2024 年度 診療報酬改定と地域医療

城北病院 副院長・医療福祉連携相談課室長  
齊藤 典才

今年度の診療報酬改定・介護報酬改定(一部)が6月から施行されましたが、皆さんの医療機関、介護系施設での対応はいかがでしょうか。今回の改定では、職員の賃金上昇に充てるベースアップ評価料が新設されましたが、算定しない医療機関も多いと聞いています。日本医師会ではこの評価料を含めると本体部分がプラス改定になったと説明していますが、算定しなければ明らかなマイナスです。病院側としては、算定しないと職員の賃金が他医療機関と比べ低くなることを恐れ止むなく算定する場合もあるかと想像しますが、それによる増収分は病院経営の原資とはならず、いずれにしても医療機関の経営はますます困難になっていくものと思われます。住民の健康を守るための地域医療を維持するためには、それぞれの医療機関が自助努力する必要性が高まっていることと、今後の地域での関係機関同士での協力体制の構築もますます重要となるでしょう。今回の改定では、そうした医療、介護の施設連携をより深化させるための改定が盛り込まれ、介護保険施設入所者の急変時に備え平時から協力関係を結ばせ、急変時に入院させた場合の「協力対象施設入所者入院加算」が新設されました。加算点数は200点と低いのですが、点数の問題ではなく、お互いの顔の見える関係作りは大変重要と考えています。当院は、24時間体制で患者さんの受け入れ相談を行っており、必要な場合は、平日の日中は地域連携室に、平日夜間と休日は病院救急外来にご連絡ください。

## 城北病院 外来棟のご紹介

この6月より城北診療所は城北病院の外来部門（名称を外来棟）として運営することとなりました。

1949年、無差別平等の理念を掲げ、地域住民の皆様の出資により当院の前進である「しろがね診療所」は開所いたしました。1956年に現在の京町に前・城北診療所が開所し、6年後には病院化した歴史があります。その後2002年に改めて城北診療所として外来部門を分離して運営してまいりました。

長年、地域の方々に親しまれた名称がなくなってしまうことは残念ではありますが、その歩んできた歴史を引き継ぎ、引き続き「無差別・平等の医療」を掲げ、地域医療の中核を担う病院としての役割を果たしてまいりますので、よろしくお願いいたします。



城北病院 事務長  
西谷 求

## 外来棟担当 副院長ごあいさつ

6月より城北診療所が城北病院に統合となり、「城北病院 外来棟」として新たにスタートしました。所長であった筋先生から外来担当副院長を引き継ぎました、内科医の松島です。

診療所から病院外来と変更となりましたが、診療体制には変更なく、今後もこれまで通りの診療を続けて参ります。

最近の医療を取り巻く人手不足は当院でも同様です。特に医師体制は、医師の高齢化と若手医師不足により、急な休診等でご迷惑をおかけすることもあります。職員一同患者さん、関係機関の皆様信頼される医療を提供できるよう、努力してまいります。

当院は、設立当初より、医療従事者が患者をささえるだけでなく、患者が医療従事者・病院をささえてきた歴史がある病院です。今後もその患者・地域住民の皆様と共に長く地域医療に貢献していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



城北病院 副院長  
(外来棟担当)  
内科 松島 実

城北診療所は2002年に城北病院の門前診療所として開設し、2024年6月より城北病院と統合し、城北病院外来棟となりました。地域の方々の協力で成り立ち、かかりつけ医の役割を担う病院外来として新たなスタートを切りました。

### 1 階

受付と内科、検査科、放射線科、医療福祉相談室、すこやか検診コーナーがあります。

内科は、急性疾患から慢性疾患管理まで幅広く対応しています。



受付 / すこやか検診コーナー / 放射線科



内科 / 医療福祉相談室



みのり会の研修

糖尿病については「みのり会」という患者会が活発に活動しています。コロナ禍でも会員同士感染対策に注意しながら集合研修を行っていました。

### 2 階

外科、小児科、リウマチ科、点滴室、皮膚科があります。



点滴室では、「がんの化学療法」「関節リウマチに対する生物学的製剤」の点滴を行っております。化学療法認定看護師が常駐しており、専門的な知識を持った看護師により安心して化学療法を受けられる環境を提供しています。



点滴室

また、リウマチ科の村山医師は毎月、患者さん向けに学習会を開催しています。

小児科では、アレルギーの専門外来を開設しており、入院でのアレルギー負荷試験治療も行っています。



### 3 階

整形外科、婦人科、泌尿器科、眼科、精神科があります。



### 【多職種連携による外来診療】

●栄養士は「慢性疾患の管理のための栄養指導」や「術前術後の栄養指導」など、急性期における患者指導も積極的に行っております。また、保健師による「禁煙外来」や「フットケア」「慢性疾患管理のための健康相談」など、専門知識を持つスタッフが連携して指導を行っています。

●当院では、「無料低額診療事業」の認可を受けており、経済的な困難を抱える方の相談などは、ソーシャルワーカーが曜日ごとの担当制にて気軽に相談できる体制をとっています。

●事務部門のスタッフも医師による学習会に参加し疾患についての知識を深めています。



●トイレは、「だれでもトイレ」として、様々な個性を持った方が使いやすいように配慮しております。

